

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校

校長 大塚 潤

みんなで創った合唱コンクール

「私たち、頑張りましたよ！楽しかったあ！」

合唱コンクール明けの教室で、結果に関わらず、自分たちの頑張りに胸を張って語る生徒たちの表情を見て、素晴らしい合唱コンクールになったことを確信しました。

各学級や各個人が時間を生み出し、努力できる

歌の練習を積んできた生徒がとて多かつたこと、伴奏者も夏休みにしつかりと練習に取り組んできたこと、廊下を歩いていくと「ちよつと指揮を教えたくれませんか」と鍵本先生や佐藤先生に尋ねる指揮者の人、一人一人の頑張りが全体の頑張りへとつながり、練習も熱を帯びていきました。



涙・涙。感動のステージをありがとう

熱心に練習すればするほど「もっとこうしたい」「まだまだ！」と新たな課題が生まれ、苦しいこともあったと思います。だけど、苦労しながら練習に取り組む中で、やっぱりみんなで歌うのは楽しい！と感じたとき、「音楽はみんなのもの」になりました。

実行委員長の さん、副実行委員長の さん、本当によく頑張つてみんなをリードしてくれましてね。様々な工夫を考え、各学級の実行委員をはじめとする全校生徒と豊かな活動を進めることができました。本当に素晴らしいかったです。

保護者の皆さま、大変な練習を粘り強く重ね、積み上げるこなす子どもたちをご家庭でも支えていただきましたことに感謝しています。たくさんの方に支えられ、この大きな舞台が成功したと思つてます。「やっぱりみんなと歌うのは楽しい」「もっとみんなと歌いたい」「このクラス、最高」「仲間っていいな」「人生っていいな」と感じた素敵な時間でした。

駅伝にも感動！

10月3日、みんなの駅

伝にかける心意気が、心配された雨雲を吹き飛ばし、絶好のコンディションの中開催することができました。更なる高みを目指して取り組んだ結果、男子も女子もはつらつとした桜中生らしい素晴らしい走りを見せつけてくれました。男子21人、女子13人、マネージャー3人の合計37人で夏休みから始まった練習は、酷暑の夏行事・部活動で多忙な中で打ち込み、粘り欲を出しながら続けられました。その結果、様々なハードルを乗り越えてきた選手にとつて、実りの多い「時を迎えることができた。」「きつかったけどやってよかった」「やり遂げて自信がついた」とそんな声を聞けて嬉しく思います。他の学校や他の選手と比べるのではなく、自分自身のそれぞれの目標達成を成し遂げた選手達と、そして、情熱をもって指導を続けてくれた松田先生をはじめとする先生方を誇りに思います。



素晴らしいチームワーク

男子 3位 入賞 1時間1分37秒
(昨年度1時間4分38秒)

1区 2区 3区
4区 5区 6区

女子 5位 入賞 46分32秒
(昨年度47分18秒)

1区 2区 3区
4区 5区

区間賞 男子5区 君
タイム10分27秒

男子 躍進記録 4位(−3分1秒)
女子 躍進記録 8位(−0分46秒)

※1秒にこだわって出した結果がこの躍進です。素晴らしい。

学力調査結果と分析 その1

今年度の学力調査の結果と分析を複数回にわたってお知らせします。

結果は、全般的に良好であるといえます。これは各ご家庭における総合的な教育力が安定しているからでもあります。

「学力」については、現在の日本の教育においては、

次のように考えられています。

- ① 基礎的な知識及び技能
- ② 思考力・判断力・表現力
- ③ 学びに向かう力

学力調査で明らかになるのは、①と②の一部です。ですから、数値結果だけに固執することなく、結果の分析を通じた幅広い指導が重要であると考えます。

そこで、各教科別の結果と課題に向けた検証を複数回にわたって掲載します。



【3年国語 現状・課題】

県、全国の平均を上回っている。

【現状・課題】

- (1) 「書くこと」は得意。要約する力がやや落ち込んでいる。
- (2) 韻文の表現技法の問いに対して、少し理解が浅い。
- (3) ケアレスミスがあり、選択肢を明確な根拠なく選んでいる。

【伸ばしていきたい力】

- (1) 文章中から重要な語句を選択したり、語彙を増やしてよりの確に文章化したりする力
- (2) 韻文に対する苦手意識の払しょく表現技法の理解の深化
- (3) 早く正しく読む力の強化

【そのための具体的取組】

- (1) 短文の要約などの課題を取り入れて、反復練習していく。
- (2) 「俳句」の単元で、表現技法の知識の定着を図る。
- (3) 時間制限をして、短文を正しく読むようなミニ単元を作り、各自の目標に向けて学習する。

【3年数学 現状・課題】

★全国の平均を下回っており、県の平均と同等である。

【現状・課題】

- (1) 「連続する2つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる」=文字を用いて数量等を表すことが苦手
- (2) 「与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかをみる」=資料の中から、最も多い結果を最も高いデータとしてとらえた可能性が高く、語句の意味の理解不足が考えられる。

【伸ばしていきたい力】

- (1) 事象が成り立つ理由また判断の理由を、数学的な表現を用いての説明ができるようにする。「思考・判断・表現」の領域でもあり、最も改善が望まれる。
- (2) 「2つ以上の数量の関係性(連続する数や関数など)を課題の把握⇒考える⇒表現する」サイクルの定着

【そのための具体的取組】

- (1) 思考過程の中で「言葉にする」、「文字にする」内容と時間を授業中に確保し、練習を重ねる。
- (2) 教科書・補助教材(AIDリルを含む)の今まで以上の活用と時間の確保

いわき市派遣事業に参加して

私が今回のいわき市派遣事業に参加して学んだことは2つあります。

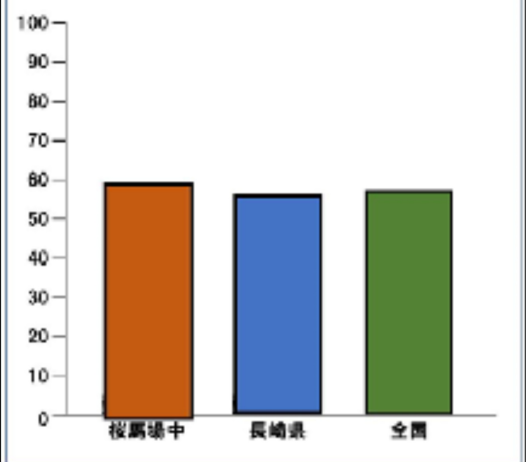
1つ目は、「人間の力は無限大」だということです。被災者の方々は、様々な困難に直面してきたと思います。身近な人が亡くなってしまったり、十分な食事が摂れなかったり、家族と離れ離れになったり、そのような苦難の中でもくじけず、一人一人が力を合わせて復興までの道のりを絶え抜いたんだと思います。本当に人間の力は無限大です。

2つ目は、原子力発電所は人間の生活に必要な不可欠ですが、時には人間に害をもたらしてしまうこともあるのだということに気づきました。水素爆発により3km圏内は立ち入り禁止区域になるなど、その規模はどんどん大きくなっていきました。立ち入り禁止区域に残された人々を救助に行こうと思っていた人もいましたが、救助に行けずに、結果残念ながら命を落としてしまった人もいたそうです。

3つ目は、東日本大震災の当時の話を語り部として受け継いでおられる方達がいるということに心を打たれました。東日本大震災という悲運を伝え続けておられることは、とても尊く素晴らしいことだと思いました。いい思い出とは言えません。いろんな思いがある中で後世に受け継いでいくとても価値のあることだと私は感じました。

(3年4組)

全国学力調査 国語(3年生)



全国学力調査 数学(3年生)

